



下記の注意を守らないと
火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

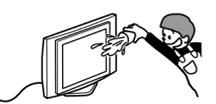
分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



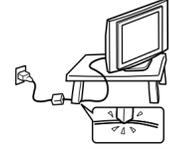
内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ交換をご依頼ください。



雷が鳴りだしたら、アンテナ線やACパワーアダプターに触れない

感電の原因となります。



付属のACパワーアダプターを使用する

それ以外のACパワーアダプターを使用すると、火災や感電の原因となります。

水のある場所に置かない

水が入ったり、濡れたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。



目や口に液晶を入れない/ガラスの破片にふれない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手でふれたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをすることがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。



裏へつづく



取扱説明書

安全のために

ご使用前に、「この安全のために」と別冊の取扱説明書をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ソニー製品は正しく使用すれば事故がおきないように、安全には十分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度「安全点検リスト」に従って点検してください。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たり、焦くさいにおいがしたら
- ・ テレビを見ているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体スタンバイランプが赤く点灯中)のときに、テレビ内部から異常な音がしたら
- ・ 内部に水などが入ったら
- ・ 内部に異物が入ったら
- ・ 音は出るが画面が映らないときは
- ・ テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



Sony Corporation © 2000 Printed in Japan

安全点検項目		液晶テレビ本体		電源コードとプラグ		設置場所と設置方法	
1	布やアルコールなどで通風孔をふさいでいませんか	1	電源コードを動かしたとき、電源が入ったり切れたりしませんか	1	電源コードが破損に折れ曲がったり、キズがついていませんか	1	不安定な場所に置いたり、に置いていませんか
2	水気、油気、湿気、ほこりの多いところに置いませんか	2	電源を入れても画像や音が出ないことはありませんか	2	電源コードが異常な熱を持っていませんか	2	不安定な置きかたをしていませんか
3	通風孔をふさいでいませんか	3	異常な臭いや音(バチバチ)がいませんか	3	電源コードやプラグ、ACパワーアダプターが異常な熱を持っていませんか	3	電源コードが物(椅子、机、台など)の下敷きになっていませんか
4	液晶パネルが破損していませんか	4	煙や臭い、焦くさいにおいが発生したり、異常な音が聞こえませんか	4	電源コードが異常な熱を持っていませんか	4	たこ足配線をしていませんか
5	液晶パネルが破損していませんか	5	電源を入れても画像や音が出ないことはありませんか	5	電源コードが異常な熱を持っていませんか	5	たこ足配線をしていませんか
6	液晶パネルが破損していませんか	6	画像や音が途切れたり、乱れたりしませんか	6	画像や音が途切れたり、乱れたりしませんか	6	画像や音が途切れたり、乱れたりしませんか
7	液晶パネルが破損していませんか	7	通風孔から水や異物(紙・虫・クリツ・ピンなど)が入った形跡はありませんか	7	通風孔から水や異物(紙・虫・クリツ・ピンなど)が入った形跡はありませんか	7	通風孔から水や異物(紙・虫・クリツ・ピンなど)が入った形跡はありませんか
8	液晶パネルが破損していませんか	8	故障状態のまま使用していませんか	8	故障状態のまま使用していませんか	8	故障状態のまま使用していませんか

処置手順	
×印の項目があるとき	そのままお使いになります。故障の原因になります。
↑	正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
↑	すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。
↑	お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。



愛情点検



下記の注意を守らないと
火災・感電により**死亡**や
大けがの原因となります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、テレビが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。



電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



本機は国内専用です

交流100Vの電源電圧でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



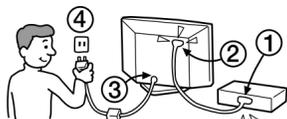
自動車の中では使わない

本機は車載仕様ではありません。



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因となることがあります。また、他機器との接続が終わったあとは、ACパワーアダプターの電源コードをセット本体につないでから、壁のコンセントに差ししてください。(右図の順参照)



電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜きませんと感電することがあります。抜くときは右図の④③②①の順です。抜くときは必ずコードでなくプラグをもって抜いてください。アース付きコンセントにアースをつないでいる場合は、必ず最後にアースを抜いてください。

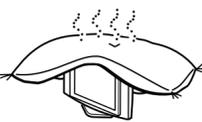


下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。本機を壁に近づけすぎると、壁などにホコリが付着し、黒くなることがあります。風通しをよくするために、壁から10cm以上離して置いてください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。



移動させるときは、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。



プラグをコンセントから抜く



濡れた手で電源プラグにさわらない

濡れた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



接触禁止



旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



プラグをコンセントから抜く

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

通電中の製品に長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っ掛けたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くとときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

使用上のご注意

電源についてのご注意

付属のACパワーアダプターをお使いください。

使用・設置場所についてのご注意

次のような場所での使用・設置はおやめください。

- 異常に高温になる場所
 - 炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内はとくに高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど、温度の高い場所
 - 変形したり、故障したりすることがあります。
- 振動の多い場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
 - 海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がからかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなる場合があります。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。
- テレビの底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
- 壁に掛けて使用するときには必ず専用のブラケット(別売り)を使用してください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分し、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするよう場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

液晶画面についてのご注意

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押ししたり、引っかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

“メモリスティック”についてのご注意

“メモリスティック”の挿入口に金属類などの異物を入れないでください。故障の原因となります。

蛍光管についてのご注意

本機は内部照明装置として専用蛍光管を使用しておりますが、この蛍光管には寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しないときは、新しい専用蛍光管に取り替えてください。蛍光管の交換については、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にお問い合わせください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

お手入れについてのご注意

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

搬送時のご注意

- 本機を運ぶときは、本機に接続されているケーブル等をすべてはずしてください。落としたりするとけがや故障の原因となることがあります。
- 修理や引っ越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。
- 本機を手で運ぶときは、図のように左右側面の下を持ち支えるようにしてください。



廃棄するときは

- 一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
- 本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

リモコン取り扱い上のご注意

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。